

宮内泰介・上田昌文
(みやうちたいすけ氏は、北海道大学大学院文学研究科教授
うえだあきふみ氏は、NPO法人市民科学研究室代表理事)

実践 自分で調べる技術

●複雑な世界を調べるための、新たな技法

10月20日発売

岩波新書『実践 自分で調べる技術』を書きました。共著者の一人である上田は、市民科学研究室での20年の経験で得た、調査のための様々なノウハウを、誰もが使える形で総まとめをしました。ぜひ書店でお買い求めください。

右図と下図は、岩波書店の「10月の新刊」より



本体880円
新赤版 1853
978-4-00-431853-8 00236

●20日発売

携帯電話の新しい規格 「5G」ここが問題！



好評のパンフレットを増刷！

まさに今世界的に導入されつつある5Gは、電波利用の面からみて画期的なものとなりますが、それは同時に、電磁波曝露の面からみてもこれまでとは一線を画するものになりそうです。これまでの調査の結果をふまえて、この5Gの電磁波問題をわかりやすく簡潔に解説しました。

A5判 12頁フルカラー 頒価一部 200円。

10部以上をお求めの場合は、送料はこちらで負担。50部以上をまとめてお求めの場合は、一部の値段を100円にさせていただきます、送料もこちらで負担いたします。

市民科学のための実践ガイド

欧米で着実に大きな潮流となってきたCitizen Science。ドイツのGEWISS（「市民が知識を創造するプロジェクト」）による『市民科学のための実践ガイド』を日本語に翻訳して公開しています。「Citizen Science とは何か」「それにどう取り組み、進めていけばいいか」を簡潔にまとめた実践的なガイドブックです。市民科学研究室のホームページからダウンロードできます。

